

# 東藤島こうみんがんだより

●人口 3,584人(男1,754 女1,830) ●世帯数 1,321戸 (令和5年8月1日)  
令和5年9月10日 福井市藤島町48-1-1 東藤島公民館 TEL54-0039 hfujik@mx1.fctv.ne.jp

## 地区敬老会にご参加ください

- とき：9月24日(日)
- ところ：東藤島小学校

令和5年度の東藤島地区敬老会を、9月24日(日)午前10時より、東藤島小学校で開催いたします。

本年は、昭和23年12月31日以前にお生まれになった75才以上の方々に、案内状を発送します。

また、今年も恒例により100歳と米寿を迎えられる方々に、お祝いの記念品をお贈りします。

該当の皆様方には、今から十分体調を整えられて、元気なお姿でご参加くださいますようお願いしております。

なお、当日は、農林高校郷土芸能部の皆さんによる太鼓演奏をお楽しみいただきます。

## 大会出場

## おめでとございます

(敬称略)

### 第44回北信越中学校総合競技大会

#### ★卓球

大東中学校 杉本 來心(追分)

### 第44回北信越中学校総合競技大会

### 第52回全国中学校総合競技大会

#### ★ハンドボール

大東中学校 増田 恭大(橋合)

### 第13回東日本少年軟式野球大会

大東中学校 伊藤 真武(藤島)  
貴島 脩登(林)

## 戦没者慰霊祭が厳かに行われました

8月11日(金・祝)に東藤島忠魂碑広場横の藤島町自治会館において、奉賛会(自治会連合会)による東藤島地区戦没者慰霊祭が行われました。

今年は県・市関係の来賓にご臨席いただきました。そして、地区内各寺院の住職様の読経の中、来賓をはじめご遺族の方々と自治会長がご焼香されました。



## 「ふれあいサマーデー」あなたのご意見募集中!

4年ぶりに開催となった「ふれあいサマーデー」はいかがでしたか?皆様のご意見をお寄せください。下記のQRコードから、アンケートにお答えください。



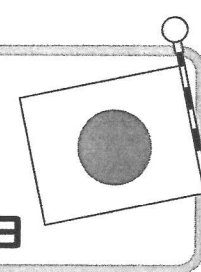
## 10月・11月の予定 ふるってご参加ください!

- 健康ウォーク大会 10月15日(日)
- 地区文化祭 10月29日(日)
- あずまフェスティバル 11月25日(土)

自分の時間もいいけれど 家族の時間も作ろうね 東藤島小児童作品

祝日には忘れずに  
国旗を掲げよう!

- 9月18日(月)敬老の日
- 23日(土)秋分の日
- 10月9日(月)スポーツの日



## 公民館休館日

- 9月11日(月)・17日(日)・18日(月)
- 19日(火)・23日(土)・25日(月)
- 10月2日(月)・9日(月)・10日(火)

## 学級通信

## 「四季折々楽」 「ポッチャで交流会」

8月22日の四季折々楽では、パラリンピックの正式種目「ポッチャ」をアレンジした「ポッチャリング」を楽しみました。

この日は、さくらんぼ児童館の子どもたちや社会福祉法人足羽福祉会「スマイル」と「カラフル」を利用されている方、地区の方約60名が参加し、1チーム8名の6チームに分かれて対戦していきました。

ゲーム中は、チームに関係なく声援を送りハイタッチをして喜び合うなど、全員が笑顔でプレーを楽しみました。



## なかよしごみ

(小学生対象)

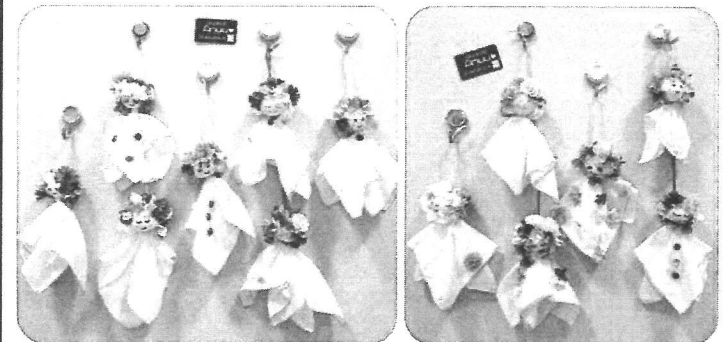
8月19日(土)に「アメリカザリガニ捕獲大作戦!」と題し、ビオトープのひょうたん池や水路に生息するアメリカザリガニを皆で協力しながらたも網で捕まえました。その他に生息しているドジョウ、メダカ、オニヤンマのヤゴ、アマガエル、ウキゴリなどの観察もできました。



## 「四季折々楽」

### てるてる坊主づくり

8月24日の四季折々楽は、「あした天気になあれ」の想いを込めて、花いっぱいのにてるてる坊主を作りました。



重点目標 あいさつ・国旗掲揚・環境美化





## くらしの提言

# 駐在所だより

### ☆「鍵かけた?」を合言葉に

- 自転車には「鍵かけ」を  
今年発生した自転車盗難の被害状況は、  
・無施錠被害が約9割  
・高校生、大学生の被害が多数  
・駅駐輪場での被害が多数
  - 外出の際は「戸締まり」を  
今年発生した空き巣の被害状況は、  
・一戸建て住宅の被害が約6割  
・無戸締まりでの被害が約5割
- ※車の中には貴重品を置かず、ドアにも鍵をかけましょう。

### ☆詐欺に注意、「不審電話対策」を

- 自宅の「固定電話」にかかってきた1本の電話をきっかけとして、高齢者が被害に遭われています。
- ・NTT西日本の番号非通知着信拒否サービス「ナンバーリクエスト」
  - ・ケーブルプラス電話(KDDI)「迷惑電話自動ブロック」
- 等はとても効果的です。ぜひ導入を検討してください。

不審電話を「自動的に拒否する対策」が大切です。

## 防犯パトロール

9月16日(土)午後7時~午後9時

福井警察署 ☎52-0110

## 老人会主催

# 「公式ワナゲ大会」開催

8月5日(土)東藤島小学校体育館を会場に、老人連合会主催の第11回公式ワナゲ大会が開催されました。9町内、13チームが参加し、ゲームを楽しみました。結果は、次の通りです。

- 【優勝】三和B
- 【準優勝】三和A
- 【第3位】北野下
- 【第4位】藤島

# スポーツ協会だより

第74回市民スポーツ大会も終了し、スポーツ協会の主催事業がいよいよ始まります。

## 事業予定

- 8月20日(日) 第7回スティックリング大会
- 9月24日(日) 第62回壮年ソフトボール大会
- 10月22日(日) 第25回ゴルフ大会

各町内より、2チーム以上の参加も可能です。もちろん参加点も加算されます。

みなさんと、スポーツの秋を楽しみましょう。たくさんのご参加をお待ちしています。

## 学級通信

# 福井学

## 「福井県の郷土料理」

8月10日「赤ずいきですこづくり〜栄養たっぷりでおうち時間を楽しもう〜」をテーマに、東藤島公民館横の畑で育てた穫れたて赤ずいきを使って、福井県の郷土料理である「すこ」を作りました。

出来上がった「すこ」を前に参加された皆さんから、「母が作っていたが、自分で作ったことがなかったので、教えてもらえてよかった。」「手間がかかるものだと実感。美味しいすこのため頑張って作ります。」「我流で作っていたのと少し違い、丁寧に作ると仕上がりが良く、これからの参考にしたい。」「早速お盆のお客様に出します。」などの感想をいただき、学級開設の意義を実感しました。

美味しいものを作るには時間がかかります。美味しくても身体に良くても食べ過ぎは禁物です。みんなで色々な話をしながら作った郷土料理は「最高にいい出来!」でした。



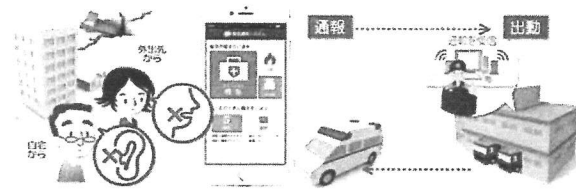
## 福井市東消防署

# 東分署からのお知らせ

聴覚や発話に障がいのある方のための

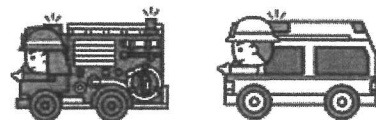
## 119 NET119緊急通報システム

福井市消防局では、聴くことや、話すことが難しい方を対象に、スマートフォンや携帯電話(以下「スマートフォン等」)のインターネット機能を利用し、簡単な操作で素早く火災や救急等の緊急通報を行い、消防車や救急車の要請ができるサービスを運用しています。



### ★サービスの特徴

- ①スマートフォン等からインターネットを利用できる場所なら、どこからでも通報を行うことができます。
- ②GPS機能を活用し、通報者のいる場所の位置情報を簡単な操作で消防へ送信することができます。
- ③通報者と消防との間で、NETによる文字通信(チャット機能)でコミュニケーションをとることができます。



### ★サービス利用対象者

音声聴くことや、話すことが難しい方で、福井市に在住又は通勤、通学、あるいは福井市によく来られる方です。

※障がい者手帳の交付を受けている必要はありません。

NET119のお問い合わせに関しては、  
福井市消防局 管制課 ☎20-3999  
FAX20-6119  
Mail ffd-kansei@city.fukui.lg.jp  
URL: https://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/boasai/syoudo/p019066.html

その他のお問い合わせに関しては、下記まで。  
福井市東消防署 ☎27-0119  
FAX27-0189  
東消防署 東分署 ☎57-0119  
災害問い合わせ ☎25-9999

## 移動図書館



## 「あじさい号」巡回日

10月4日(水) 11:00~11:20



# 子どもたちに残したい 美しい日本の歌



あの町この町 作詞 野口 雨情  
作曲 中山 晋平

- あの町この町 日が暮れる日が暮れる  
今きたこの道 かえりゃんせ  
かえりゃんせ
- お家が だんだん 遠くなる遠くなる  
今きたこの道 かえりゃんせ  
かえりゃんせ
- お空に ゆうべの 星が出る星が出る  
今きたこの道 かえりゃんせ  
かえりゃんせ

遊びに夢中のあまり、ふと気がつけばあたりはすでに日暮れ間近。美しいあかね色の夕空、暮れなずむ町の情景に、子ども心に切なくやるせない思いが満ちてくる…。

そんな子どもの日常的な経験や心情を素朴に表現した「あの町この町」は、大正13年、童謡・童話雑誌『コドモノクニ』に発表されました。作詞・作曲は、「しゃぼん玉」「証城寺の狸囃子」「雨降りお月さん」などでもおなじみの野口雨情と中山晋平。

かつてどこでも見ることができた情景や子どもの生活をほうふつとさせるこの歌は、数ある二人の童謡の中でも秀逸な代表作であり、ひときわ異彩を放っているといえるのではないのでしょうか。

そこでは、雨情らしいことばの響きやリズムと、味わい深い民謡的な雰囲気、晋平の調べが見事に生かされ、独特の叙情性を醸し出しているのです。

八分音符が並ぶ素朴なリズムも、晋平自身が「はずみをつけて」と付記したことからもわかるように、むしろことばの感じや曲想に応じた柔軟な表現を求めているととらえることができるでしょう。童心、大衆性、日本的な情調を生命線とするふたりの、まさに真骨頂がうかがえます。

20~30代にかけて、職を求めて各地を転々と渡り歩いていた雨情にとって、「あの町この町」という表現には、自身の経験が込められているのかもしれない。

参考資料:「心に響く童謡・唱歌  
~世代をつなぐメッセージ~」(東洋館出版社)